

## 0360 | 建築史

4 単位（通信授業 4 単位）

松葉一清教授、足立純子講師

## 授業の概要と目標

ヨーロッパを中心とした建築と都市の歴史を、古代から中世、さらには近世から初期近代にわたって通観する。建築の様式や変遷を単にたどるだけではなく、それぞれの時代に特有の社会や経済、そして文化を生み出してきた人類の歴史のなかで、建築や都市は、どのような役割を果たし、どのように変化と発展を遂げてきたかを、各時代において考察していく。そうした学習によって、建築における機能、構造、材料、美学などの時代による変化を理解し、それぞれの地域風土の差異によって生まれた建築様式の多彩な変貌と展開の跡をたどることを目標としたい。

## 課題の概要

## ○通信授業課題 1

教科書「序章」（建築史の概念）と「第 1 章 古代およびヨーロッパ建築周辺史」を理解し、演習問題を踏まえて 2000 字程度のレポートにまとめて提出する。

## ○通信授業課題 2

教科書「第 2 章 中世」を理解し、演習問題を踏まえて 2000 字程度のレポートにまとめて提出する。

## ○通信授業課題 3

教科書「第 3 章 ルネサンス以降のイタリア建築の展開」「第 4 章 イタリア以外のヨーロッパの近世建築」を理解し、演習問題を踏まえて 2000 字程度のレポートにまとめて提出する。

## ○通信授業課題 4

教科書「第 5 章 新古典主義と 19 世紀の建築」を理解し、演習問題を踏まえて 2000 字程度のレポートにまとめて提出する。

\* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

## 授業計画

## [通信授業]

教科書「序章」から「第 5 章」と、関連する参考文献・資料（学習指導書参照）を使用し、古代から 19 世紀までの建築史を読み進める。

## 成績評価の方法

## ◎科目試験

教科書に準じて出題した科目試験の成績によって評価する。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

学芸員課程の設定科目であり、資格取得希望者は 1～3 年次に履修することが望ましい（旧課程履修者は除く）。

## 教材等

教科書：谷口汎邦監修、吉田銅市著『西洋建築史』（森北出版株式会社 2007 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）

## その他

課題、授業計画、参考文献の詳細は、学習指導書を参照のこと。